受付
-7.3.24
上京区役所
廃棄

社会福祉法人　健光園

小規模多機能ホーム　十四軒町の家

小規模多機能型居宅介護　サービス評価

令和６年度

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」　総括表

法人名	社会福祉法人健光園	代表者	古石　隆光
事業所名	小規模多機能ホーム 十四軒町の家	管理者	片山　雅巳

法人・事業所の特徴	「生涯地域居住」の理念のもと高齢者から児童までの福祉サービスを提供している。 「大切な人にこの場所を」の理念を掲げ、慣れ親しんだ地域で高齢者が安心して暮らし続けられる支援を目指しています。

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援ｾﾝﾀｰ	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	４　人	人	３　人	１　人	１　人	人	３　人	１２人

項　　目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A．事業所自己評価の確認	会議のオンライン化、動画視聴。サービス評価フォーマット変更などの提言予定（京都地域密着型サービス事業所協議会へ）	法人全体研修においてはオンラインにて自宅参加が可能となる。事業所単位での開催に繋げたい。	事業所評価項目と地域向け評価項目それぞれのものである。地域向け評価が事業所評価に近い形になれば意見も出しやすい。	会議のオンライン化や動画視聴。会議での決定事項は、全職員に周知できるよう日々行っているミーティング開催の見直しを行う。
B．事業所のしつらえ・環境	写真による日常生活の紹介に限らず動画、Instagram の紹介、画像共有などに取り組む。	リーフレットが完成している。事業所の広報など活用している。事業所 Instagram 開設、積極的な投稿が出来るよう工夫している。	実際に利用していない家族、運営推進会委員ではイメージが持ちづらい。	広報誌の継続発行だけでなく Instagram などで写真、動画による日常生活紹介の取り組みは継続するが、以外に家族会を開催し、口頭でも紹介できる機会を作る。
C．事業所と地域のかかわり	千本通商店街百円市への参画、地域防災訓練へ参加する。	千本通商店街百円市への参画、参加。地域の防災訓練に参加する。	地域行事への参加も徐々に再開されておられます。 食材提供企業より出張企画も取り組んでおられます。	イベントなどを通し、幅広い世代との交流が図れる機会を作り、相談に来やすい雰囲気を意識する。
D．地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域向け料理教室を開催する。	料理教室を再開している。次年度には地域にも開放したい。	料理教室は再開されている。以前のように地域への開放も含めて開催を継続して下さい。	料理教室は日付を決めて定例開催にすることで、地域の方も参加しやすいよう、開催の１ヵ月前から呼びかける。
E．運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議の内容についてテーマを設ける（防災、日常の紹介、交流会など）	運営推進会議は集合開催が継続されている。会議内での親睦、交流の機会は持てていない。 圏域合同会議の開催は検討までも至らない。	毎回、事業所の様子を報告して頂いております。事故や苦情など事業所として伝えづらい事柄も情報公開されています。	報告内容がマンネリ化しないよう工夫する。

Ｆ．事業所の 防災・災害対策	訓練動画の視聴、事業所備蓄、備品の紹介を行う。	訓練の様子など動画にて紹介する機会がなかった。事業所の設備、備品、備蓄の状況を報告するに留まった。	大きな災害に備えて準備されていると思います。訓練風景など次年度以降、会議内で紹介してもらえたらと思います。	災害対策や取り組みについては、事業所内だけではなく、地域の方にも Instagram や広報誌などで発信する。